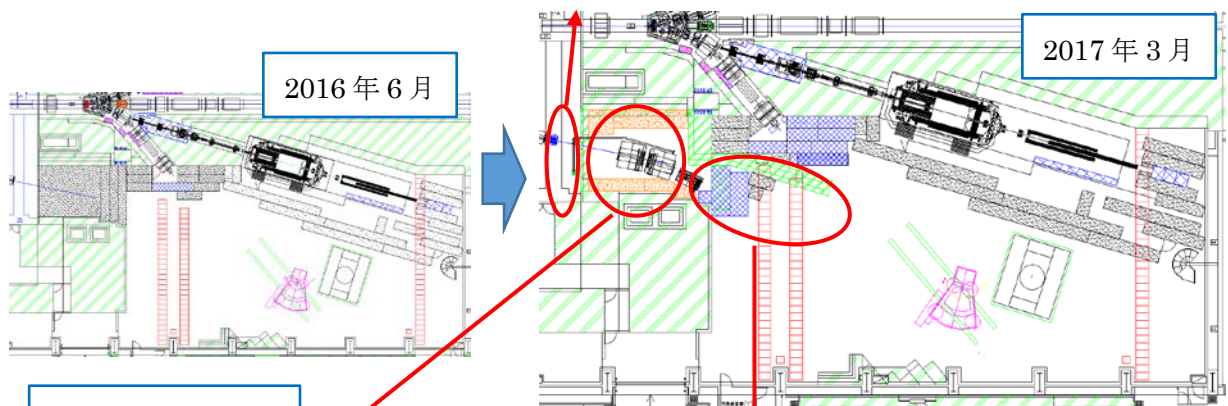
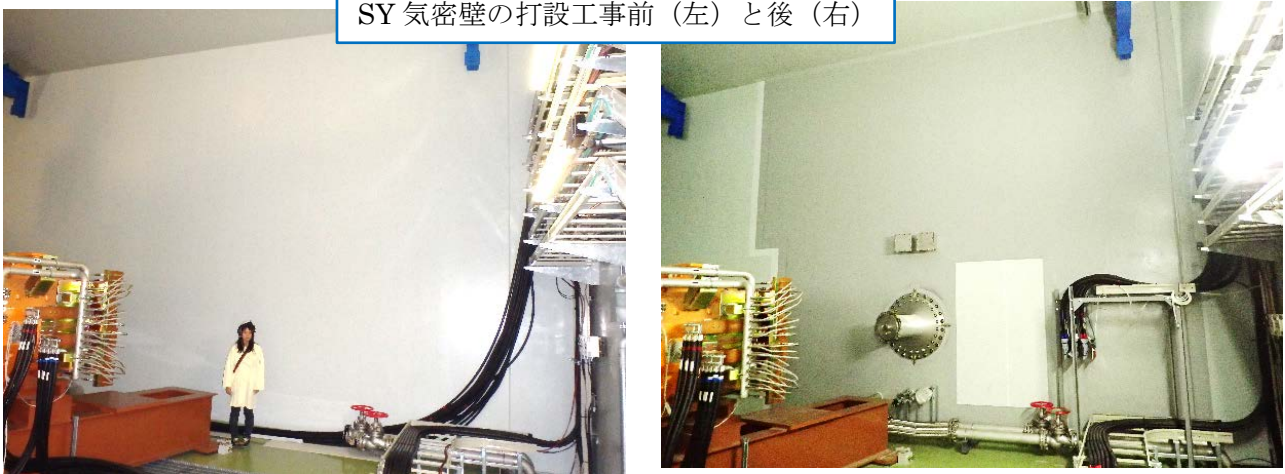


1, high-p/COMET ビームラインの建設

今夏の作業として、2016 年 7 月からこれまで主に下記の作業を行った。

- ① スイッチヤード(SY)-ハドロンホール間の、大量の遮蔽体が積まれたエリア（通称“壁中”）の遮蔽体の撤去。
- ② 貫通パイプ、貫通バスダクト等の付いた SY 気密壁の打設。
- ③ “壁中”電磁石の設置。
- ④ COMET ビームラインのコンクリート壁の一部の打設。

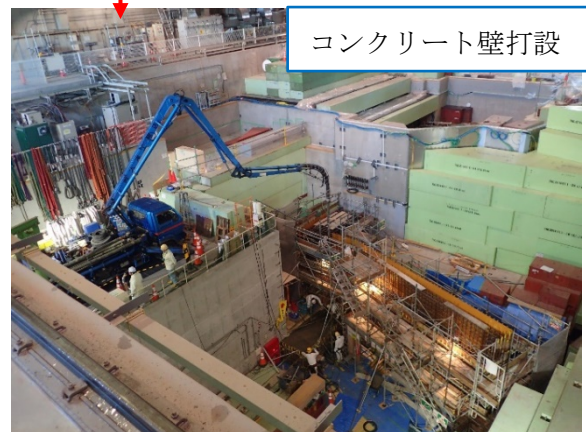
SY 気密壁の打設工事前（左）と後（右）



“壁中”電磁石設置



コンクリート壁打設



2, クランプチェーン交換（中下流部）実施

2016年8月から2017年2月までの予定でハドロン実験ホール下流部および中流部のチェーンクランプ更新のための真空メンテナンス作業とそれに伴う電磁石取り出し作業を行っている。作業エリアは高放射化エリアのため、ビームライン機器の取り扱いには遠隔、または半遠隔化により行うことで被ばく量の低減をはかっている。写真は、遮蔽体の取出し作業、およびv19電磁石の取出の作業である。遠隔着脱吊具（ツイストロックやリフマグ）を使い実施している。

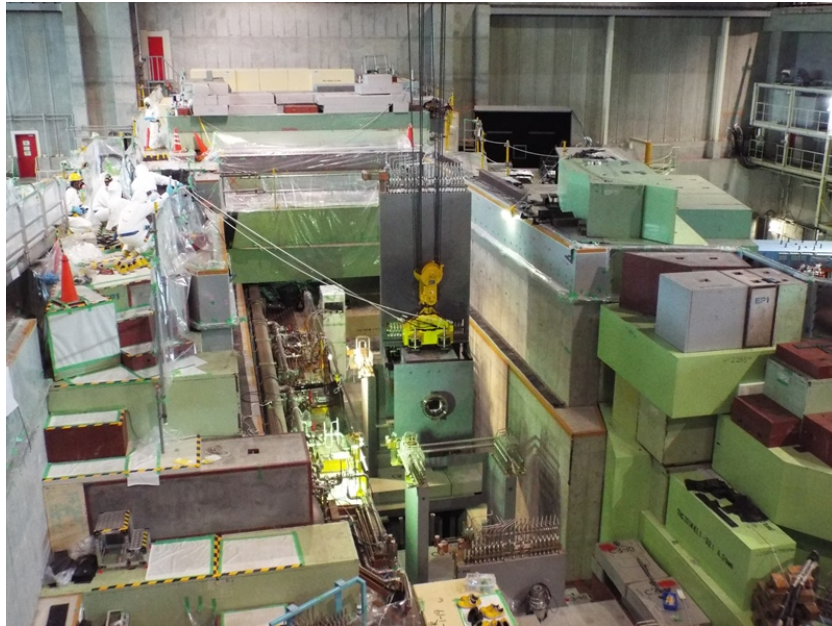


Figure 1 v19 電磁石（vertical steering）取り出し作業。



Figure 2 ビームライン遮蔽体の取り出し作業。